第70期

IR Report
株主通信

平成27年4月1日～平成28年3月31日



JPX
東証JASDAQ上場
証券コード
7635

特集 社長インタビュー

創業 100 年を目指してスタートした中期5ヶ年計画「コミット 600」の 2 年目となった第 70 期ですが、増収増益で終えることができました。

営業所の新規出店、新商品の開発、流通センターの整備など積極的な経営戦略が功を奏した第70期となりました。近年注力してきた新卒採用と教育により人財の層も厚くなりました。



TOP INTERVIEW

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当事業年度(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の「株主通信」をお届けするにあたりまして、皆さまからの日頃のご支援に対し心より厚く御礼申し上げます。

Q 第70期の総括

創業80周年を節目に「コミット600」をスローガンに掲げスタートした中期5ヶ年計画の2年目が終わりました。第70期も増収増益で決算を締めることができました。

住宅建設業界は、首都圏のマンション販売戸数に減少傾向がみられましたが、持家の着工、貸家及び分譲住宅の着工は、おおむね横ばいで推移しました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高55,695百万円（前連結会計年度比2.8%増）、営業利益749百万円（同1.9%増）、経常利益864百万円（同1.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益584百万円（同24.9%増）となりました。

Q 「コミット600」の意義と2年目の実績

2014年度より新たなる中期5ヶ年計画を策定しました。それは「コミット600」と「20:20（トゥエンティー・トゥエンティー）」です。

2018年に年商600億円を達成し、東京オリンピックが開催される2020年には営業利益20億円を達成するという目標です。

目標達成に向けてのポイントとしては、①市場カバー率の底上げ、②卸売業としての更なる基盤強化、③提案力強化による付加価値の創造の3点です。

当社グループは、新たに山形営業所、秋田営業所、京都営業所を開設し、また水沢エース株式会社を連結子会社に加える等、積極的な業容の拡大を図り「市場カバー率の底上げ」を具現化しました。また「卸売業としての更なる基盤強化」のために平成28年1月には札幌流通センター、4月には成田流通センターを開設し、在庫商品の更なる充実と納品の迅速化を実現したいと考えております。

「提案力強化による付加価値の創造」として新規事業の一つであります長期保存食「イザメシ」の販売を量販店・百貨店・通販など全国規模で大幅に販路を拡大するなど、積極的経営が功を奏した一年でありました。

Q 第71期にむけて

第71期は「コミット600」の3年目に入ります。住宅着工戸数は楽観視できませんが、東京オリンピック需要の本格化、都市部での大型再開発や、防災意識の向上による防災用品の需要などが環境的なポイントになることでしょう。そこで大切なことは営業管理です。大型物件の情報をいち早くキャッチし受注を確定する必要があると考えます。そのためには、営業拠点の拡充、エリア別の営業戦略・管理の徹底、顧客開拓の強化、ルートと他営業部・子会社との融合等を実施してまいります。

「卸売業としての更なる基盤強化」の一環として、成田流通センターでは、新たに当社オリジナルのアルミ汎用型材の販売やカット加工対応を始め、キメの細かいお客様サービスに努めます。

流通センター機能の更なる充実を図り、近い将来、新たな地域での流通センター開設を視野に入れております。



新規事業につきましても少しだけお話させていただきます。昨年発表した「イザメシDeli」に続き、チョコバーとフルーツドロップなどのイザメシお菓子シリーズ「IZAMESHI　OKASHI」を新発売しました。今年も秋に向けて、新シリーズの商品バリエーションを増やしていく予定です。

また、佐藤オオキ率いるデザインオフィス・nendoがデザインを手掛けた防災セット「MINIM＋AID | ミニメイド」は、地震などの災害が起きてから避難所へ行くまでに必要なラジオやランタンなどを必要最低限に絞り込んだ防災セットです。SUGIFES 2016で発表する予定です。

同じくnendoがデザインを手掛けたガーデンファニチャー「sudare スダレ」は、販売開始となり家具の専門店への販路拡大に努めております。

社内的にもマネジメント強化を図るために「社内留学制度」のスタートや社員教育の更なる強化により人材育成に力を注ぎます。

これからも株主の皆様のご期待にそえるよう、当社グループ社員一同精進し、コミット600を達成させたいと思っております。

今後とも、倍旧のご支援とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

News Digest

ニュースダイジェスト

2015年4月～2016年3月

2015年

4月 山形営業所開設

4月1日に山形営業所を開設しました。県域の85%を山地が占めている豪雪地帯ですが、営業所の開設で雪の日でもお客様をフォローすることができます。秋田同様、若いメンバーが営業所を引っ張っております。

[住所]山形県山形市城西町4-4-6ダイヤ1城西D　A号室

[TEL]023-643-6681　[FAX]023-643-6682





2015年

4月 秋田営業所開設

4月1日に秋田営業所を開設しました。今までは、仙台からお客様を訪問していましたが、これからはきめ細かな営業活動を行えます。所長を中心にフレッシュなメンバーで頑張っております。

[住所]秋田県秋田市山王3-1-13三菱マテリアル不動産ビル 1階

[TEL]018-865-1112　[FAX]018-865-1113





2015年

7月 建築金物見本市 SUGIFES2015開催

7月24日、25日の2日間、東京ドームシティ プリズムホールで建築金物見本市"SUGIFES"を開催。受注は、目標145億円に対し、実績148億円で約102%の目標達成となりました。動員数についても、約6000人と目標を上回りました。中でも「IZAMESHI」と「PATIO PETITE」のコーナーは、大人気でした。







2015年

8月 水沢エース株式会社がグループに

流氷でも有名な北海道北見市にある水沢エース株式会社が杉田エースグループの仲間入りをしました。オホーツク沿岸地を中心に営業活動を展開していますが、今後は、杉田エースの道北営業所としての役割も果たしてまいります。

[住所]北海道北見市卸町2-3-2

[TEL]0157-36-2151　[FAX]0157-36-2156





2015年

8月 IZAMESHIに新シリーズ「IZAMESHI Deli」が登場

美味しい長期保存食として大注目を集めたIZAMESHIシリーズに一手間加えたワンランク上のプレミアシリーズ「IZAMESHI Deli」が新登場。



9月 郵便受箱「FUMI」が2015グッドデザイン賞を受賞

郵便受箱「FUMI」が、2015年度グッドデザイン賞を受賞しました。四季のうつろい、光がつくりだす陰影、極限まで削ぎ落とされたデザインのポストです。



2015年

10月 nendoデザインによる、「PATIO PETITE」の新シリーズsudare(スダレ)販売開始

「sudare（スダレ）」コレクションは、佐藤オオキ率いるデザインオフィス・nendoがデザインを手掛け、ベランダやテラスといったコンパクトな屋外空間のために開発。ラインアップは、サイドテーブル、チェア、ハイバックチェア、ラウンジチェアの4種類です。



2015年

10月 京都営業所開設

10月1日に京都営業所を開設しました。オフィスが建ち並ぶ地下鉄五条駅から徒歩0分の好立地です。人口150万都市京都は、観光を中心にまだまだ成長するエリアです。5人の社員でお客様満足度の高い営業をしてまいります。

［住所］京都府京都市下京区烏丸通五条下ル大坂町400番地 三善ビル5階
［TEL］075-708-5162　［FAX］075-708-5172



2016年

1月 札幌流通センター開設

「今日間に合う」を実現するために北海道全域をカバーする札幌流通センターが本年1月に完成しました。延床面積809㎡、在庫アイテム数約1500点です。事務所は、札幌支店内にあります。

［住所］北海道札幌市東区東苗穂四条2-1-39
［TEL］011-789-6631　［FAX］011-789-6632



Announcement

美味しい長期保存食「IZAMESHI」に新シリーズが登場!

「いつでもおいしい!」「どこでもおいしい!」を合言葉に誕生した長期保存食「IZAMESHI(イザメシ)」に一手間加えたワンランク上のプレミアムシリーズ「IZAMESHI Deli(イザメシ デリ)」が登場しました。
災害時の非常食としてはもちろん、忙しい朝や料理に1品加えたい時、海外旅行などお出かけや登山、キャンプといったアウトドアシーン等、日常生活でもおいしく召し上がっていただけるように開発しました。




きのこと鶏の
玄米スープごはん


濃厚トマトの
スープリゾット


大豆たっぷり
カレーリゾット


梅と生姜の
サバ味噌煮


トロトロねぎの
塩麹チキン


名古屋コーチン入り
つくねと野菜の和風煮

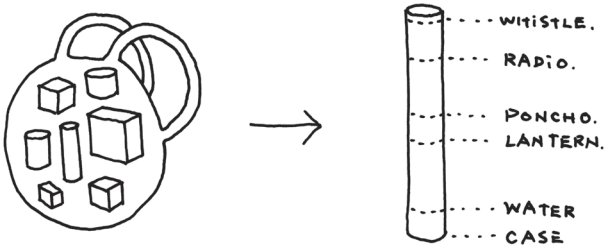

ごろごろ野菜の
ビーフシチュー


りんごが決め手の
生姜焼き

New Product

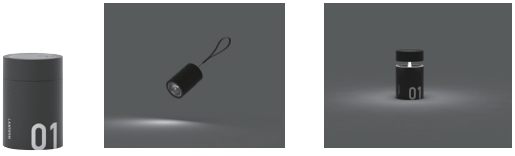
防災セット「MINIM＋AID｜ミニメイド」誕生!

地震などの災害が起きてから避難所へ行くまでに必要なものを、必要最低限まで絞り込んで収めた防災セットが誕生しました。自分の存在を知らせるためのホイッスル、ラジオ、ポンチョ、ランタン、飲料水、樹脂製ケースを、防水性があり水に浮く直径約5センチの筒にまとめました。ラジオは手動で充電でき、USBを通してスマートフォンやランタンなどを充電することも可能です。

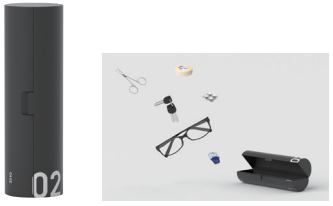




LANTERN ランタン



CASE ケース



RADIO ラジオ



PONCHO ポンチョ



New Product

PATIO PETITE (パティオ プティ) 2016

アウドドアファニチャー「PATIO PETITE (パティオ プティ)」の2016年新コレクションは、「柄」が魅力の一つ。ボブファンデーションとのコラボレーションした作品が4シリーズが加わりました。古いペンキの板壁がモチーフとなったパレット・チェア／テーブル。座面から背もたれまでポリエステル生地で一体となった「レジスタ」「シロッコ」など。他にも、オリジナル品として開発したファニチャーが7シリーズ加わります。これまでのシリーズと組合せて使用する事で、より楽しく過ごせる新作ファニチャーです。





REGISTA（レジスタ）



SIROCCO（シロッコ）



SAHARA（サハラ）



PALETT（パレット）

Renewal Open

2016年夏にオープン3周年を迎えるクラブエスタショップ

2013年にオープンしたクラブエスタショップもこの夏に3周年を迎えます。「PATIO PETITEシリーズ」「IZAMESHIシリーズ」などのショールーム機能だけでなく、インテリアショップとしても多くのお客様に愛されております。近年人気の商品は、ベトナムの「カード」やベルギーの「植木鉢」です。世界各地で見つけたおしゃれなインテリア用品を輸入販売しております。女性誌やテレビでも取り上げられる青山を代表するショップへと成長しました。














Financial Highlights

業績・財務ハイライト

営業概況

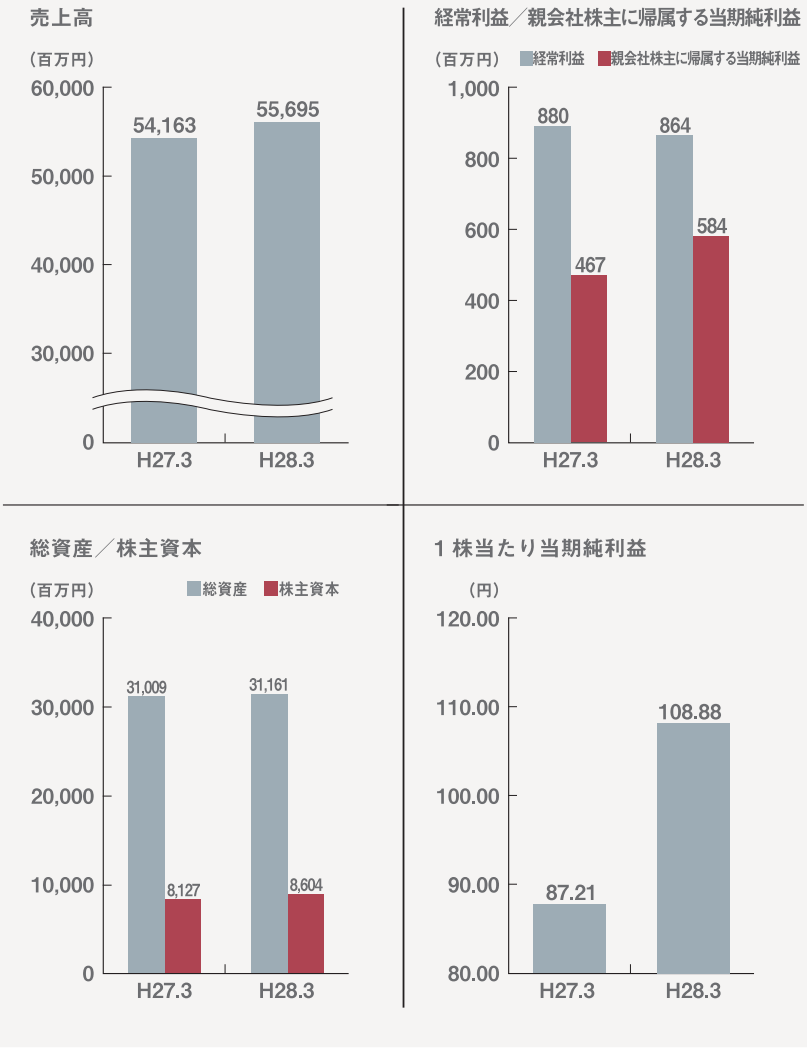
当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融政策の効果もあり、雇用や企業業績に改善が見られ、緩やかな回復基調が続きましたが、中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、先行きの不透明感が払拭できず、楽観視できない状況で推移しました。

住宅建設業界におきましては、首都圏のマンション販売戸数に減少傾向がみられましたものの、持家の着工、貸家及び分譲住宅の着工は、おおむね横ばいで推移しました。

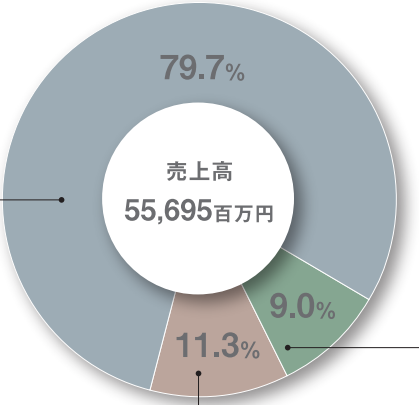
このような状況の中、当社グループは、新たに山形営業所、秋田営業所、京都営業所を開設し、また水沢エース株式会社を連結子会社に加える等、積極的な業容の拡大を図ってまいりました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高55,695百万円（前連結会計年度比2.8%増）、営業利益749百万円（同1.9%増）、経常利益864百万円（同1.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益584百万円（同24.9%増）となりました。

連結財務ハイライト



セグメント状況



44,404百万円
ルート事業

ルート事業は、住宅用資材及びビル用資材等を、二次卸・金物店・建材店等へ販売しております。

住宅用資材は、錠前及びオートヒンジ等が伸長した建具商品、及び接着剤関連商品等が伸長した建設副資材が好調に推移しましたが、物干関連商品が伸長し、換気口関連商品等が減少したマンション住宅商品及び、ピクチャーレール等が減少したインテリア商品が低調に推移し、売上高は19,668百万円（前連結会計年度比0.5%増）となりました。

ビル用資材は、屋上ベランダ廻り商品及び外装関連等の大型商品が伸長したビル用商品、階段廻り商品等が伸長した福祉商品、エクステリア商品及び公園設備品等が伸長した景観商品がそれぞれ好調に推移し、売上高は23,288百万円（同7.2%増）となりました。

この結果、ルート事業全体の売上高は44,404百万円（同4.1%増）となりました。

6,290百万円
エンジニアリング事業

エンジニアリング事業は、住宅用資材及びビル用資材等を、建材店・販売工事店等へ、独自のノウハウによる設計・加工・施工等の付加価値を加味して販売しております。

住宅用資材は、接着剤関連商品等が伸長した建設副資材が好調に推移しましたが、丁番及びドアクローザ等が減少した建具商品、物干関連商品及び換気口関連商品等が減少したマンション住宅商品、ピクチャーレール等が減少したインテリア商品が、それぞれ低調に推移し、売上高は2,404百万円（前連結会計年度比7.9%減）となりました。

ビル用資材は、階段廻り商品等が伸長した福祉商品が好調に推移しましたが、屋上ベランダ廻り商品及び点検口関連商品等が減少したビル用商品、エクステリア関連商品が減少した景観商品が、それぞれ低調に推移し、売上高は3,268百万円（同5.3%減）となりました。

この結果、エンジニアリング事業全体の売上高は6,290百万円（同7.1%減）となりました。

5,000百万円
直需事業

直需事業は、ホームセンター・ディスカウントストア等向けのDIY商品、及びOEM関連資材、その他商品を販売しております。

住宅用資材は、オートヒンジ等が伸長した建具商品が好調に推移したこと等により、売上高は157百万円（前連結会計年度比6.1%増）となりました。DIY商品は、ホームセンター及びプロショップ向けの定番品である金物・建材商品は前年並みに推移しましたが、長期保存食やガーデンファニチャー等の新提案商品が好調に推移し、売上高は3,600百万円（同10.8%増）となりました。

OEM関連資材は、住宅サッシ系金物及び店舗内装向け金物が低調に推移し、売上高は1,243百万円（同8.6%減）となりました。

この結果、直需事業全体の売上高は5,000百万円（同5.1%増）となりました。

Financial Statements

決算レポート

連結貸借対照表

（単位:百万円）

科目	第69期 平成27年3月31日現在	第70期 平成28年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	25,313	24,645
現金及び預金	3,413	2,803
受取手形及び売掛金	17,962	17,502
たな卸資産	2,587	2,968
未収入金	1,200	1,206
繰延税金資産	147	132
その他	35	38
貸倒引当金	△34	△6
固定資産	5,696	6,516
有形固定資産	3,786	4,578
建物及び構築物	1,545	2,041
土地	2,107	2,421
その他	133	114
無形固定資産	162	161
ソフトウェア	102	101
その他	59	60
投資その他の資産	1,747	1,776
投資有価証券	996	975
繰延税金資産	114	122
その他	636	678
資産合計	31,009	31,161

科目	第69期 平成27年3月31日現在	第70期 平成28年3月31日現在
（負債の部）		
流動負債	20,137	19,028
支払手形及び買掛金	11,240	8,749
電子記録債務	6,827	7,801
1年内返済予定の長期借入金	613	1,225
未払法人税等	380	341
賞与引当金	282	282
その他	792	628
固定負債	2,732	3,551
長期借入金	1,722	2,486
退職給付に係る負債	468	460
役員退職慰労引当金	433	467
その他	107	136
負債合計	22,870	22,580
（純資産の部）		
株主資本	8,127	8,604
資本金	697	697
資本剰余金	409	409
利益剰余金	7,025	7,502
自己株式	△4	△4
その他の包括利益累計額	11	△23
その他有価証券評価差額金	74	34
退職給付に係る調整累計額	△63	△57
非支配株主持分	0	0
純資産合計	8,139	8,581
負債純資産合計	31,009	31,161

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

（単位:百万円）

科目	第69期 自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日	第70期 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
売上高	54,163	55,695
売上原価	46,520	47,861
売上総利益	7,642	7,834
販売費及び一般管理費	6,906	7,084
営業利益	736	749
営業外収益	191	199
受取利息	2	1
受取配当金	16	25
仕入割引	120	127
受取家賃	28	28
その他	23	16
営業外費用	46	85
支払利息	17	19
手形売却損	12	12
投資有価証券売却損	14	—
売上割引	—	52
その他	2	1
経常利益	880	864
特別利益	0	91
固定資産売却益	0	2
負ののれん発生益	—	89
特別損失	0	15
固定資産除売却損	0	15
税金等調整前当期純利益	881	939
法人税、住民税及び事業税	388	344
法人税等調整額	24	11
当期純利益	467	584
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	467	584

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位:百万円）

科目	第69期 自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日	第70期 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	837	△896
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122	△980
財務活動によるキャッシュ・フロー	501	1,267
現金及び現金同等物の増減額（△減少額）	1,216	△610
現金及び現金同等物の期首残高	1,966	3,183
現金及び現金同等物の期末残高	3,183	2,573

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

（単位:百万円）

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	697	409	7,025	△4	8,127	74	△63	11	0	8,139
当期変動額										
剰余金の配当	-	-	△107	-	△107	-	-	-	-	△107
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	584	-	584	-	-	-	-	584
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	△40	5	△34	0	△34
当期変動額合計	-	-	476	-	476	△40	5	△34	0	442
当期末残高	697	409	7,502	△4	8,604	34	△57	△23	0	8,581

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Stock Data

株式情報

株式の状況

（平成28年3月31日現在）

①会社が発行する株式の総数	普通株式	19,490,000 株
②発行済株式の総数	普通株式	5,374,000 株
③株主数		2,390 名

大株主

（平成28年3月31日現在）

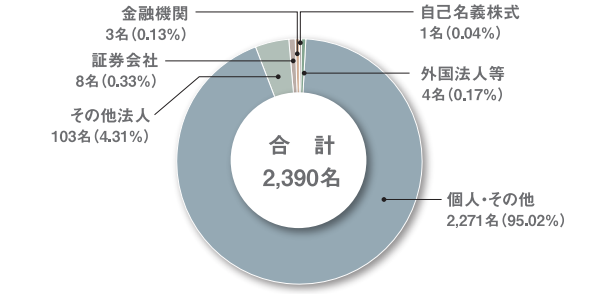
株主名	持株数	持株比率
杉田直良	946,000 株	17.63%
有限会社 杉田商事	730,000 株	13.61%
杉田エース従業員持株会	333,912 株	6.22%
杉田裕介	240,000 株	4.47%
株式会社 三井住友銀行	195,000 株	3.63%
東京中小企業投資育成 株式会社	159,500 株	2.97%
株式会社 ナスタ	117,800 株	2.20%
株式会社 ダイケン	93,800 株	1.75%
株式会社 千葉銀行	72,000 株	1.34%
UBS AG SINGAPORE	68,000 株	1.27%

（注）持株比率は自己株式（8,784株）を控除して計算しております。

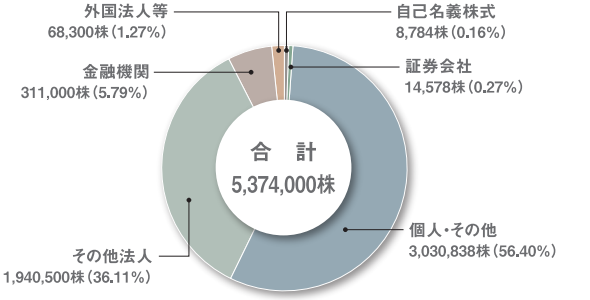
株式分布状況

（平成28年3月31日現在）

株主別分布状況

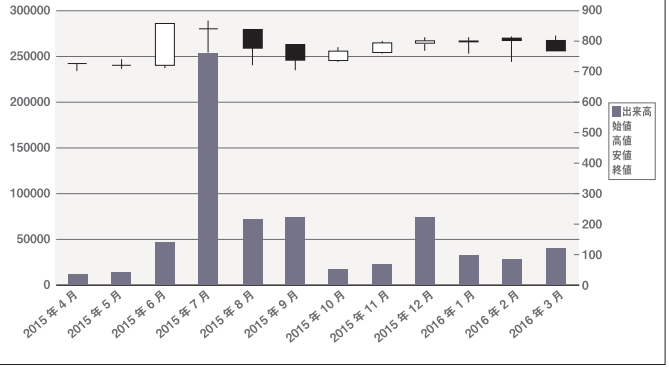


所有株式数別分布状況



株価の推移

（平成28年3月31日現在）



Corporate Data

会社情報

会社概要

（平成28年4月1日現在）

商号	杉田エース株式会社
所在地	東京都墨田区緑二丁目14番15号
設立	昭和23年9月
資本金	697,240,600円
従業員数	480名（グループ合計）
主な事業内容	当社は、住宅用資材、ビル用資材、DIY商品及び特定需要家向けOEM関連資材の卸売業を行っております。

主な事業所

（平成28年4月1日現在）

本社事務所	東京都墨田区緑二丁目14番15号
営業部等	北海道・東北・東京・関東・西日本・南日本・エンジニアリング・直需
流通センター	千葉・埼玉・大阪・大宮・仙台・札幌・成田
グループ会社	トクダマシモエース株式会社、ヨネミツエース株式会社、水沢エース株式会社

取締役及び監査役並びに執行役員

（平成28年6月29日現在）

代表取締役会長	杉田 直良
代表取締役社長	杉田 裕介
専務取締役	中尾 純
取締役	我謝 宗厚
取締役	佐藤 正
取締役	杉田 力介
取締役	長島 俊夫
取締役	島田 直樹
常勤監査役	北川 達也
監査役	田中 康一
監査役	内山 芳男
執行役員	長谷山 光夫
執行役員	森川 一成
執行役員	花井 慎一
執行役員	笹生 浩一郎
執行役員	澤 龍
執行役員	井関 誠
執行役員	岡田 努
執行役員	瀧山 吉彦
執行役員	滝 昇悟
執行役員	深井 秀樹

（注）1.取締役　長島俊夫・島田直樹の両氏は社外取締役であります。
2.監査役　田中康一・内山芳男の両氏は社外監査役であります。

株主メモ（株式のご案内）

■事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
■定時株主総会	毎年６月開催
■基準日	定時株主総会　毎年３月31日 期末配当金　毎年３月31日 中間配当金　毎年９月30日 その他必要があるときは、予め公告して定めた日
■株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目４番１号 三井住友信託銀行株式会社
■株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目４番１号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

（郵便物送付先）
〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目８番４号
三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）0120-782-031
（インターネットホームページURL）
http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

■公告掲載新聞　日本経済新聞

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

株主優待制度のご案内

毎年3月末日現在の、株主名簿に記録されている100株以上ご所有の株主の皆さまを対象に、当社取扱商品を贈呈します。
平成28年3月期末は「長期保存食 IZAMESHI(イザメシ)」を贈呈します。

※下記セットのうち、お好きな1セットを贈呈

●ヘルシーセット



まんぞく豚汁・わかめうどん・五目ご飯・ぶり大根・7年保存水500mℓ

●スピードセット



プレーンデニッシュ・しっかりおでん・ふわふわ玉子粥・ごろごろ肉じゃが・7年保存水500mℓ

●パワーセット



ごはん・メープルデニッシュ・煮込みハンバーグ・醤油ラーメン・黒みつきなこ餅・7年保存水500mℓ

●ごはんセット



ごはん・五目ご飯・わかめご飯・ひじきご飯・小松菜ご飯・ふわふわ玉子粥

●おかずセット



しっかりおでん・煮込みハンバーグ・ぶり大根・ごろごろ肉じゃが・まんぞく豚汁×2

●スイーツ・パンセット



プレーンデニッシュ・チョコデニッシュ・メープルデニッシュ・あんこ餅・黒みつきなこ餅

●Deli洋風セット



濃厚トマトのスープリゾット・大豆たっぷりカレーリゾット・りんごが決め手の生姜焼き・ごろごろ野菜のビーフシチュー・7年保存水500mℓ(2本)

●Deli和風セット



きのこと鶏の玄米スープごはん・梅と生姜のサバ味噌煮・名古屋コーチン入りつくねと野菜の和風煮・トロトロねぎの塩麹チキン・7年保存水500mℓ(2本)

●OKASHIセット



チョコバー 9本入り／3袋・フルーツドロップ 12粒入り／2袋

杉田エース株式会社
〒130-0021 東京都墨田区緑二丁目14番15号
TEL.03-3633-5150 FAX.03-3633-5023

当社に関する情報についてはホームページでもご覧いただけます。
http://www.sugita-ace.co.jp